



人権学習を行いました

11月26日(水)～12月16日(火)の3週間、人権学習を実施しました。本年度は「他者理解 ～互いに認め合い 個人として尊重し合える集団～」を学習課題として、日常生活の中にある「マイクロアグレッション」や自分の中にある「差別意識」に気づき、相手への言動を見直す機会となるよう学習を進めました。

11月26日(水)の全校集会で生徒会本部役員から人権学習のテーマ『Step up ホツと もっと!』の発表がありました。『ホツと』することを増やすために「誰にとっても居心地がよい場所であり、仲間がいる学級、誰もが居心地のよい学級をつくりましょう。」と訴えました。生徒は、誰もが居心地のよい集団をつくるために、どんなことを心掛け、どんな言動をすればよいか、自分にできることは何かを考え、個人目標を決めて3週間の学習をスタートしました。



【人権学習のテーマ】

12月3日(水)の人権集会Ⅰでは、生徒会本部役員による3つの人権劇をもとに、無意識な差別について考えました。人権劇は、1つは男子だから、女子だから…、1つは親が外国人だから…、1つはまじめな学級委員長だから…という場面での問題点に気付かせるものでした。何が問題で、どうすればよかったのか、相手を傷つけないために自分ならどうするのかを考えました。

また、人権学習期間中の朝の時間にショート動画「誰かのことじゃない。①「障がいのある人編」と②「外国人編」を視聴し、それぞれの問題点とその解決方法を考えました。さらに、道徳の時間には、1年生は「ハンセン病」、2年生は「カメルーン生まれ、日本育ち」、3年生は「ぼくの物語、あなたの物語」を題材に、ペアやグループで意見交換を行い、考えを深めました。

12月16日(火)の人権集会Ⅱでは、各学年団の取組と学んだことや感想を発表しました。その一部を下に紹介します。今回の人権学習で学んだことをこれからの生活に生かし、誰もが居心地のよい学級、学年団、学校、そして社会をつくっていきましょう。

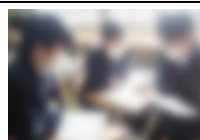
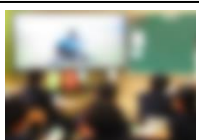
- 障がい者は「気の毒な人」「助けてあげる存在」ではない。集団の中では「共に生きる仲間」。
- 「あってはいけない違い」は、人が作った差別。大切なのは、「どの人も尊重される」こと。誰もが自分らしく生きられる世の中を目指したい。
- 「偏見」という色眼鏡を通して見る世界は本当の世界ではない。色眼鏡をやめれば、本当の世界、本当の「その人」が見えてくる。対等なコミュニケーションによって、人は理解し合える。
- 「決めつけ」た言動をやめよう。自分の目と心でしっかり見よう。友達の声を直接聞こう。自分のことを語り知ってもらおう。



【1年生】



【2年生】



【3年生】

香川県中学校新人体育大会の結果

香川県中学校新人体育大会で、それぞれの部活動において練習の成果を発揮し、下のような素晴らしい結果を残しています。どの部活動も自分たちのベストを尽くし、最後まで決して諦めずにチームやペアのために戦う姿や仲間を応援する姿に大きな拍手を贈ります。引き続き、地区大会や県大会、次の大会等での活躍を期待しています。

競 技	県大会結果	競 技	県大会結果
バドミントン男子団体	1回戦惜敗	サッカー	1回戦惜敗
バドミントン女子団体	1回戦惜敗	柔道男子 団体	2回戦惜敗
バドミントン男子 シングルス	2回戦惜敗	柔道男子 個人	55kg 級 1回戦惜敗
	2回戦惜敗		81kg 級 1回戦惜敗
バドミントン男子 ダブルス	ベスト8 惜敗		
バドミントン女子 シングルス	第3位		
	2回戦惜敗		
バドミントン女子 ダブルス	2回戦惜敗		